

登録コード	ASF02500	開講年度	2026				
授業科目	食品生物機能科学特別演習 I					担当教員	竹野 誠記
英文授業名	Advanced Seminar for Biological Function and Bioproduction I					副担当	野村 亘
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	1. 食品生物機能科学分野（食品微生物工学, 遺伝子工学, 応用微生物学の各分野）の最新情報を収集することができるようになる。 2. 上記分野における高度な学術論文（英文）を読む力を十分に身につけ, 内容を理解する力を身につけることができる。 3. 学術論文の内容を論理的にわかりやすく他者に解説（プレゼンテーション）できるようになる。 4. 学術論文の内容に対して, 批判的かつ論理的に討論できるようになる。
授業の概要	食品生物機能科学分野（食品微生物工学, 分子生物学, 応用微生物学の各分野）の最新論文（英文）を選定し, 輪読およびプレゼンテーション形式での解説を行うとともに, それに基づく討論を行う。						
Contents:	This seminar includes introducing current papers and reading English texts in the fields of Food Microbial Engineering, Molecular Biology and Applied Microbiology, and also includes discussion and presentation on researches.						
授業計画	第1回：有用物質生産菌の育種研究分野における最新学術論文の検索方法および選定（担当：竹野） 第2回：有用物質生産菌の育種研究分野における高度な学術論文の輪読（担当：竹野） 第3回：有用物質生産菌の育種研究分野における高度な学術論文の解説用スライドの作成演習（担当：竹野） 第4回：有用物質生産菌の育種研究分野における高度な学術論文の解説（プレゼンテーション）と討論（担当：竹野） 第5回：脂質生産菌の育種研究分野における最新学術論文の検索方法および選定（担当：竹野） 第6回：脂質生産菌の育種研究分野における高度な学術論文の輪読（担当：竹野） 第7回：脂質生産菌の育種研究分野における高度な学術論文の解説用スライドの作成演習（担当：竹野） 第8回：脂質生産菌の育種研究分野における高度な学術論文の解説（プレゼンテーション）と討論（担当：竹野） 第9回：食品発酵に関わる微生物の分子生物学的研究分野における最新学術論文の検索方法および選定（担当：野村） 第10回：食品発酵に関わる微生物の分子生物学的研究分野における高度な学術論文の輪読（担当：野村） 第11回：食品発酵に関わる微生物の分子生物学的研究分野における高度な学術論文の解説用スライドの作成演習（担当：野村） 第12回：食品発酵に関わる微生物の分子生物学的研究分野における高度な学術論文の解説（プレゼンテーション）と討論（担当：野村） 第13回：酵母の育種研究分野における最新学術論文の検索方法および選定（担当：野村） 第14回：酵母の育種研究分野における高度な学術論文の輪読（担当：野村） 第15回：酵母の育種研究分野における高度な学術論文の解説用スライドの作成演習（担当：野村） 第16回：酵母の育種研究分野における高度な学術論文の解説（プレゼンテーション）と討論（担当：野村）						
成績評価の方法	プレゼンテーションと討論の内容, 学術論文の理解と討論の内容から, 総合的に評価する。						
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本とする。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可：授業の達成目標の水準より下にある						
事前事後学習の内容	英語学術論文の読解やプレゼンテーションの準備には十分に時間をかけること。						
履修上の注意	特になし。						
質問,相談への対応	随時, 受け付ける。						
学生へのメッセージ	興味をもった内容について, 自主的に文献調査を行うこと。また, 積極的に, 討論に参加すること。						
【教科書】	特になし。						
【参考書】	選定した学術論文						